

資源・エネルギー業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	目標指標	基準年度 /BAU	目標水準	2013年度実績	進捗率	想定比	2014年度 の見通し	目標の引き上げ	CO2排出量 2013年度実績 (万t-CO2)	2020年以降の 「低炭素社会実行計画」 策定状況
電気事業連合会	-	-	-	-	-	-	-	-	48300	検討中
石油連盟	省エネ対策量	2010年度	▲53万kl (原油換算)	▲28.6万kl (原油換算)	54%	-	-	-	4023	検討中
日本ガス協会	CO2原単位	1990年度	▲89%*	▲91%*	103%	-	-	-	45.3	検討中
	エネルギー原単位	1990年度	▲85%	▲89%	104%	-	-	-		
特定規模電気事業者	-	-	-	-	-	-	-	-	957.3	検討中
日本鉱業協会	CO2原単位	1990年度	▲15%**	▲12.7%**	85%	101%	-	-	450	CO2原単位 1990年度比 ▲18% (2020年度に見直し予定)
石灰石鉱業協会	CO2排出量	BAU	▲4,300t-CO2*	▲1,128t-CO2*	26%	43%	▲3,100t-CO2*	-	28.3	検討中
石油鉱業連盟	CO2排出量	2005年度	6万t-CO2 (▲27%)	+7.9%	-28%	-	-	-	24.03	検討中
	CO2原単位	1990年度	▲25%	+0.5%	-2%	-	-	-		
日本LPガス協会	CO2原単位	1990年度	▲22%***	+44.6%***	-202%	-	▲31.6%	-	3.1	エネルギー消費量 2010年度比 ▲9%

(注1)2013年度実績及び2014年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2013年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)「想定比」は、2013年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)電力のクレジット等調整後排出係数(受電端)と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

* 日本ガス協会・石灰石工業協会は、電力排出係数0.330kg-CO2/kWhに基づき算定。

** 日本鉱業協会は、電力排出係数0.492kg-CO2/kWhに基づき算定。

***LPガス協会は実排出係数(受電端)に基づき算定。

(注6)着色している業種は、2013年度実績において進捗率が100%を超過している業種。ただし、各業種とも、最終的には2020年実績で目標を達成することとしている。

(注7)電気事業連合会、特定規模電気事業者については計画未策定。

資源・エネルギー業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	低炭素製品・サービス等による他部門での貢献	海外での削減貢献	革新的技術の開発・導入
電気事業連合会	定量的分析あり	定量的分析あり	—
	—	—	—
石油連盟	定量的分析あり	—	—
	定量的分析あり	—	—
日本ガス協会	定量的分析あり	—	—
	定量的分析あり	—	—
特定規模電気事業者	—	—	—
	—	—	—
日本鋳業協会	定量的分析あり	定量的分析あり	定量的分析あり
	定量的分析あり	定量的分析あり	—
石灰石鋳業協会	—	—	—
	—	—	—
石油鋳業連盟	—	—	—
	—	—	—
日本LPガス協会	定量的分析あり	—	—
	定量的分析あり	—	—

(注1) 上段は計画に掲げられた削減貢献ポテンシャルについて、下段は削減貢献ポテンシャルに対する2013年度実績について、それぞれ定量的分析の有無を記載。